

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便利

お知らせ

＜PPP事業部＞

指定管理者事業は県や市の発注者により、年度ごとに指定管理者の業務が適正・的確に実施されているか、市民サービスの向上が図られているか検証され、指定管理者に対して必要な指導等が行われると共に取組意欲を高めることを目的とした実績評価が行われます。この度、令和4年度の実績評価の通知があり、当社が運営管理をしている**広島市4施設（中小企業会館、可部運動公園、留学生会館、西部埋立第五公園）**全てにおいて最高評価の“S（良好）”を頂くことができました。この結果は、各施設に従事されている職員の皆さんの日頃からの業務対応における大きな成果です。引き続き、次年度以降においても同様の評価が頂けるよう、利用者の満足度の向上に努めていきます。

＜広島市留学生会館＞（国際交流・国際協力の拠点）

当会館では、年間の最大イベントである“留学生会館まつり”を11月5日（日）に開催します。今回のテーマは“Connect People Connect Cultures（人をつなぐ、文化をつなぐ）”として、色々な国の紹介ブースや料理屋台、日本語スピーチコンテストや民族衣装の紹介等、催し物が盛りだくさんの企画です。留学生間の交流、そして留学生と市民の皆様の交流が当会館を中心に大きな輪となって広がっていく事を期待しています。皆さんもお時間があれば、「留学生会館まつり」に立ち寄ってみてください。

＜広島市中小企業会館＞



会館の施設運営を行う上で施設設備の点検は欠かせませんが、この度展示館屋上に傷んでいる箇所があり広島市に報告相談したところ、屋上防水工事を行うことが正式に決まり10月から工事開始となりました。また開館から40年以上経過し、他にもいくつか改善が必要な箇所があり、現在広島市と協議を進めています。催事者、来館者に安心してより良い状態で施設を貸し出せるよう取り組んでまいります。



＜クレンリネス事業部＞

ここ数年はコロナの陰に隠れていましたが、広島県内では現在インフルエンザ注意報が出されています。これまで通り、手洗いやうがいをしっかりと行い予防に努めてください。

先日、アイコス研修で消火器の使い方を練習しました。今までは感染予防や清掃に関する研修が殆どでしたが、今回は防災に関する研修も取り入れてみました。自分が担当している病院フロアで火事が発生した場合どう避難するか、消火器や防火扉がどこにあるか知っているか、歩行できない患者さんもおられるため、階段を利用した垂直避難よりもフロアの端に避難する水平避難が有効であることなどを学習しました。もし自分が業務中に火事に遭遇したら？という脳内訓練をしてみてください。尚、訓練用の消火器が本社にありますので、現場で研修する際はお声掛けください。

＜SP事業部＞

11月の催事設営業務は7件予定しており、試験会場、販売会、子育て支援催事に対応します。一般の方々を対象の催事は11月11日（土）・12日（日）に産業会館で開催のCISSファミリーフェア（衣料品、食品、日用品）は招待状を用意していますので、ご来場を希望される方はSP事業部までお問合せください。また、11月29日（水）に中小企業会館で開催のリトルママフェスタは入場チケットが必要ですので下記のイベント公式サイトで手続きをお願いします。（<https://festa.l-ma.co.jp/hiroshima2023nov/>）

（お問い合わせ先：SP事業部 三澤・林 082-263-0013）

<FM事業部>

建築物は、建築基準法や消防法などの法律に基づき安全性を維持するための管理をしなければなりません。なかでも特殊建築物と呼ばれる用途の建物には、専門家による点検とその報告が義務付けられています。FM事業部では、年末に向け建築基準法第12条に基づく、特殊建築物の法定点検を多数予定しており、非常照明の点灯状況（照度測定）や換気量・排煙風量の測定、防火設備点検（防火シャッター・防火戸）、壁のひび割れ状態などを細かくチェックします。点検の結果悪いところは早急に改善すると共に、これから悪くなりそうな所があれば予防策を講じ、安全で快適な建築物の維持管理に努めていきます。



<セキュリティ事業部>

先日、携帯電話に掛かってきた見知らぬ番号からの電話に出ると「〇〇ファイナンスです。この携帯電話の通信料が未納の為、法的措置に移行します。オペレーターに繋ぐ方はボタンの1を押してください」といった内容の自動音声流れてきました。この時は会社の携帯電話だったので落ち着いて詐欺だと判断できましたが、そうでなければ、もしかしたら引っかかっていたかもしれません。皆さんも見知らぬ番号からの電話には特に注意を払い、内容が金銭の請求であれば、まずは詐欺を疑ってください。

<東京支店>

東京支店が入居しているマンション「フォンテ六本木」が、8月のお盆明けからの1ヶ月間でエントランスのリニューアル工事を実施し、当社も管理会社としてデザインなどの基本計画から施工まで携わりました。昭和54年竣工で約45年が経過したマンションですが、マンション名のサインからカラーリング、照明までグッと令和な雰囲気になったのではないかと感じます。また、共用部照明のLED化も実施しました。これには行政の省エネ関連補助金を活用することで費用を抑えることが出来ました。皆様もお近くにお越しの際には是非ご覧ください。



<安全衛生委員会>

過去5年間(H30.10~R5.9)に発生した労働災害の発生状況を報告いたします。

5年間で44件の労働災害が発生し、1年平均では8~9件発生していることとなります。

事故の類型では、全体の半数近くを転倒・転落事故(19件 43.2%)が占めています。階段や脚立からの転落、そして段差での躓きが多く発生しています。転倒・転落事故は骨折などにより長期の休業を伴う可能性が高くなります。「階段を下りる際、手すりを持つ」「足腰を鍛え、転倒しにくい体作りを行う」など5S・ABCを徹底することで無事故無災害を目指していきましょう。ご安全に！！

<磨種(とぎぐさ)>

9月末に広島県立病院清掃業務の入札結果の詳細がもたらされ、当社オオケンのこれまでの地道な努力と新たな提案が評価されたことがつまびらかになりました。今年11月1日から3年先の令和8年10月末までの契約が成立しましたが、約4年後には当該県病院が新築のため広島駅北に移転予定であり、その行方が注目されます。

令和4年5月より受注した新設の広島市北部医療センターの病院施設総合管理業務は、I-CoSS(オオケンアイコス)という基本方針を基に、清掃・設備・警備業務が統合され、そのシナジー効果が求められていますが、未だ成長過程にあり、試行錯誤しながら更なる成果を求めて実践活動が進められています。いずれにしても、既にお仕事をさせて頂いているお客様の「満足度アップ」のためにも、また今後新たな物件の受注を目指すためにも、I-CoSSのグレードアップは欠かせません。

さて、今年5月8日より新型コロナウイルス感染症の位置づけが二類相当から五類へ移行され公費負担であった検査費等が自己負担になりましたが、古生代より存続しているウイルス類の進化存続能力は計り知れないものがあり、これからも「生きとし生けるもの」とのせめぎ合いが続くものと考えられます。前述のとおり、オオケンはI-CoSSのブラッシュアップ・バージョンアップを目指しており、アイコス研修の質の向上・充実と資格者数の拡大に向け、広島大学名誉教授・河野修興先生に指導をお願いしていますので、所属業務分野を問わず、アイコスを勉強したいという社員有志の参加を求めます。希望者は経営管理部を通して申し込みください。